

令和7年度

要覧



— 剱岳から見える富山湾 —

公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818

Eメール toyama@nikkyoko.or.jp URL <https://www.kyoko-toyama.jp/>

「教弘」の歩み

"たすけあい"の輪

太平洋戦争後の1949 (昭和24) 年、日本人の心が未だ荒廃していた頃。

「健全にして文化的な社会の建設は、教育の振興なしには望めない。」状況にあり、「教育の復興のためには、教職員の生活の安定を図ることが第一」との信念のもと、教職員の『頼母子』による共済事業が始められました。

静岡県で蒔かれたこの「一粒の麦」は、「教育にたずさわる仲間たちの“たすけあい”の輪を広げよう!」との願いのもと、先人の弛みない努力により全国に拡がり、1952 (昭和27) 年、日本教育公務員弘済会の創立に発展、1955 (昭和30) 年には、文部省から財団法人の認可を受けるに至り、今年度は73周年となります。

「富山県教育公務員弘済会」が発足

富山県でも、小学校長会が、中学校長会や高等学校長協会等に呼びかけて、1957 (昭和32) 年、財団法人日本教育公務員弘済会の支部として「富山県教育公務員弘済会」が発足し、1984 (昭和59) 年には、財団法人の設立が認可されます。

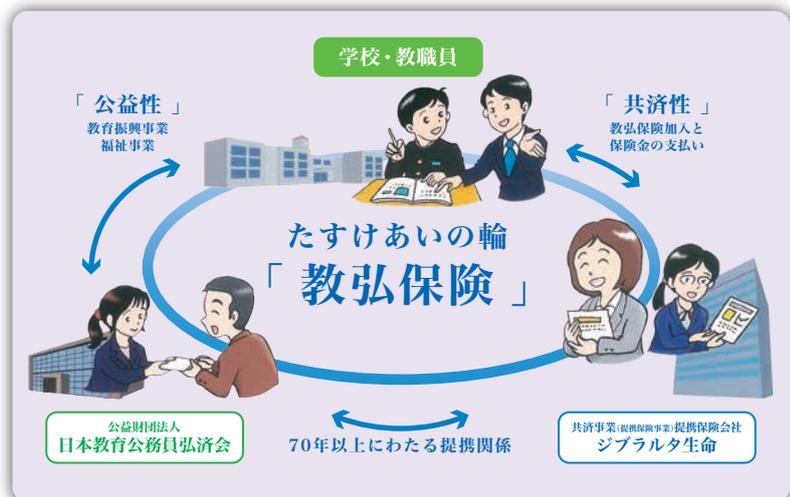
教職員の福利厚生からスタートした弘済会事業は、公益事業へと発展し、奨学・教育研究助成・教育文化事業などの教育振興事業に拡大しています。

公益財団法人として

「県での運営基盤の安定を図る。」という使命を終えた財団法人富山県教育公務員弘済会は、2010 (平成22) 年4月、公益財団法人を目指して全国が一つに合併し、富山支部としてスタートを切りました。

また、公益認定等委員会からの答申を受けた内閣総理大臣は、2012 (平成24) 年4月、これを認定、「公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部」となりました。『公益財団法人』に認定されたことは、弘済会事業の原資となる「教弘保険 (ジブラルタ生命との提携事業) から生ずる契約者配当金が事業資金となることの仕組み」が行政府によって認められたことになり、社会的信用度とともに社会的使命も高まりました。

富山支部は、事業量の拡大とともに質の充実を図って『民による公益の増進』に努め、富山県教育の振興に、また、教職員の福祉に資する弘済会であり続けたいと願っています。



組織と事業

- 1. 名称** 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部
- 2. 所在地** 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-1-18
オフィス西中野内
- 3. 目的** この法人は、青少年の健全な育成に資するため、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付、教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行い、教育、文化の向上発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図ることを目的とする。
- 4. 事業** この法人は、上記の目的を実現するために、次の事業を行う。
(1) 有為の学生、生徒に対する奨学資金の貸与及び給付
(2) 教育一般の特に有益な研究に対する助成
(3) 教育、文化の振興に対する支援
(4) 教育関係者の福祉向上
(5) その他この法人の目的を実現するために必要な事業
- 5. 役員等** 幹事会 …… 幹事(9名)をもって構成
運営委員会 …… 運営委員(29名)をもって構成
監査会 …… 監査(2名)をもって構成
- 6. 事務局** 専任役員 …… 2名
職員 …… 1名(奥井郁江)
参事 …… 5名(水橋 涉、藤岳亮子、南 重義、
関澤 好、笹島康代)
特任参事 …… 2名(澤木 昇、平本道宏)

役員一覧

役職名	氏名	所属・職
顧問	廣島 伸一	富山県教育委員会教育長
”	亀遊 壽之	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部元支部長
”	小林 福治	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部前支部長
支部長	青木 正邦	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
副支部長	中崎 健志	富山県教育委員会教育次長
専任幹事 (事務局長兼任)	城石 吉章	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
幹事	宮口 克志	富山市教育委員会教育長
”	田中 宏育	富山県高等学校長協会長
”	水戸 英之	富山県中学校長会長
”	石田 和義	富山県小学校長会長
”	能澤 英樹	富山県教職員組合執行委員長
”	坪池 宏	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部友の会代表
監査	山尾 佳充	富山市立芝園中学校長
”	山本 剛	富山市立山室中部小学校長

令和6年度 弘済

教育研究助成事業

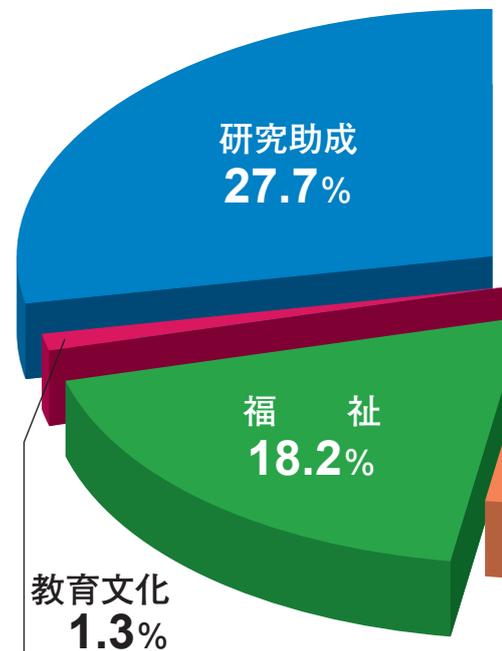
教育研究や実践活動への支援

個人・グループ・学校・教育団体・研究大会などに対し、奨励金や助成金を交付し、本県教育の充実・振興のための支援を行っています。

総額 1,140万円

教育団体研究助成	150万円	13 団体
教育研究大会助成	257万円	82 件
教育助成	237万円	(中・高・義務 特支中高) 79 校
課題研究助成 (平17~実施)	242万円	484 個人
課題研究教育賞	70万円	優秀賞20件 優良賞10件
教育実践研究論文助成 (平21~実施)	115万円	25 件
教育実践研究論文教育賞	58万円	最優秀賞1件 優秀賞2件 優良賞3件 個人奨励賞1件
「教育実践報告集」刊行	11万円	HPIに電子ブックを掲載

弘済会事業の拡充



教育文化事業

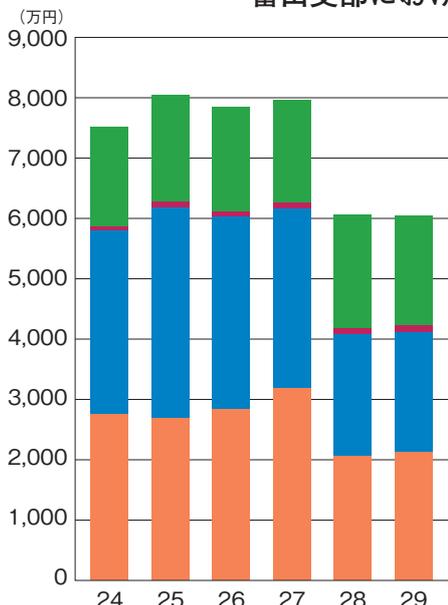
豊かな教育文化をはぐくむために

教育文化の向上を図り、その発展を目指すことを目的に支援を行っています。

総額 54万円

文化振興助成	37万円	7 団体
文化講演会 (弘済会企画)	17万円	1 件

富山支部における

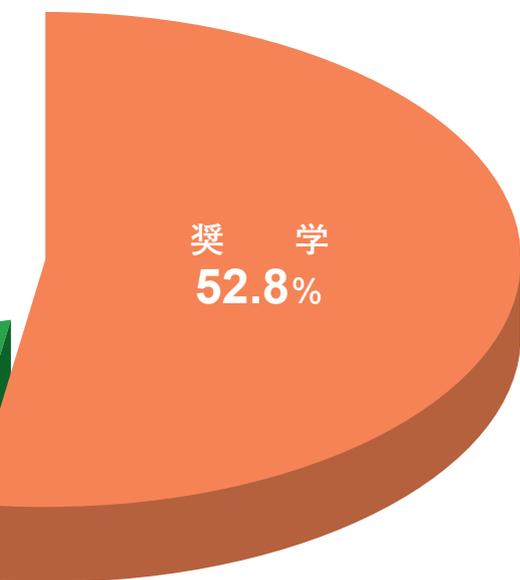


会事業のあらまし

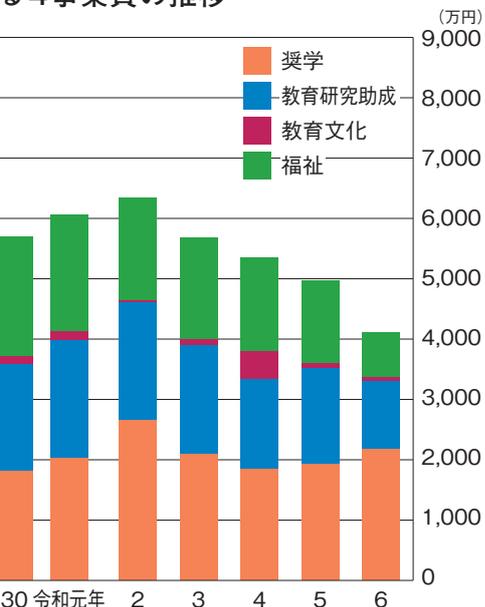
奨学事業

無利息で貸与及び返済不要の給付

総額 4,115万円



る4事業費の推移



総額 2,174万円

貸与

有為な人材育成のため、大学・短大・専門学校で学ぶ学生に無利息で資金貸与を行っています。

貸与額 1,600万円 19名

給付

修学意欲が有り、経済支援を要する生徒・学生に奨学金を給付しています。

高等学校等 430万円 高校3年生 43名
給付奨学金

大学 144万円 大学生 4名
給付奨学金

福祉事業

暮らしにうるおいを

教弘加入者の皆様に、より豊かな暮らしをしていただくために支援しています。

総額 747万円

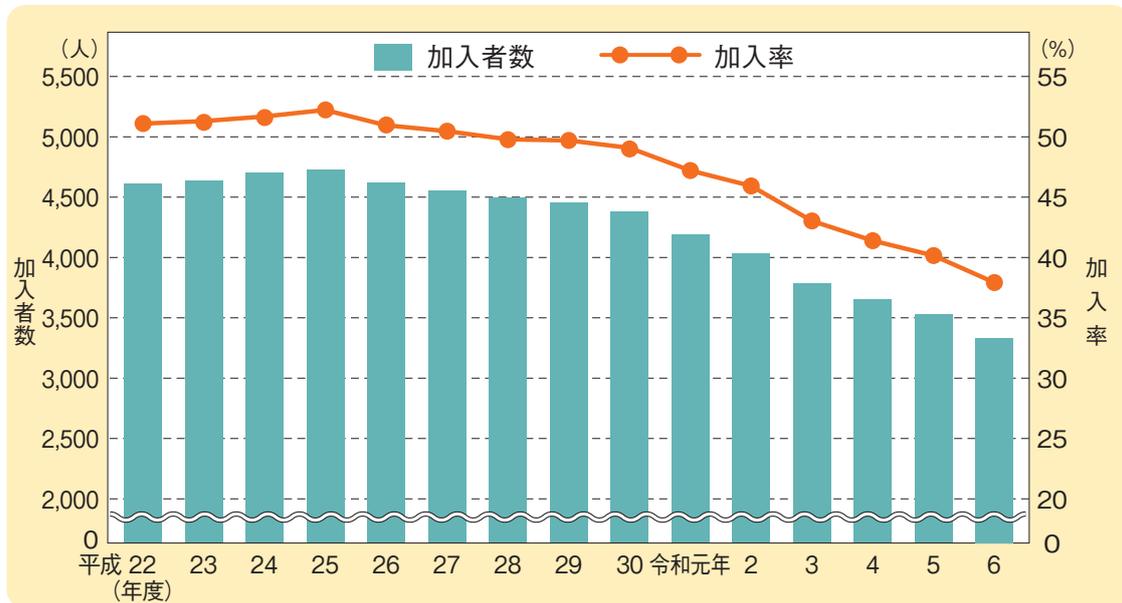
結婚祝	46 万円	46 名
出産祝	100 万円	100 名
大学・短大・高専・専門学校入学祝	65 万円	65 名
高校入学祝	25.5 万円	51 名
家族弔慰	199 万円	199 名
本人弔慰	8 万円	8 名
加入継続記念品	35.5 万円	239 名
健康増進補助	199 万円	339 名
指定宿泊施設利用補助	39 万円	153 名
鑑賞・観劇補助等	30 万円	120 名

教職員の皆さまとそのご家族のために

共済事業（提携保険事業）

※事業提携会社
ジブラルタ生命保険(株)

教弘保険への加入状況（現職）



“たすけあいの輪”を広げましょう！

- 富山県の教育の振興に役立っています。
(奨学、教育研究助成、教育文化(助成)事業など)
- 魅力ある福祉給付・補助があり、退職後も継続できます。
- 現職の教職員しか加入できない教職員のための「たすけあい」の保険です。
- 保険料が低廉です。(集团契約だから)

